

平成30年度 長野県視覚・放送・情報教育研究大会 中野・下高井大会

社会科学習指導案

指導者 北信教育事務所学校教育課指導主事 宮原 理恵 先生

日時 平成30年11月15日(木) 9:45～

授業会場 中野市立中野小学校 4年4組 教室

単元名 「県内の特色ある地域と人々の暮らし」

授業者 業田 智行 教諭

1 研究テーマ

【全校研究テーマ】 対象に迫りながら、友と共に学びを創り出していく子ども

【社会科研究テーマ】 教育メディアを利用した教材や資料の提示、教師の支援により、児童の学習意欲を高め、確かな理解を図るにはどのようにすればよいか

2 研究内容

本校は、全校実践研究テーマ「対象に迫りながら、友と共に学びを創り出していく子ども」を具現するために、「中野小スタイル」を合い言葉に、子どもの事実目に向けた研究を学年単位の研究グループで進めており、カンファレンスの積み重ねや少人数による授業研究会を取り入れている。

今回の大会の研究主題「教育メディアを効果的に活用し、一人一人の子どもに確かな学力をつけ、心豊かな人間性を育むことを目指す」を受けて、本校社会科研究グループ(4学年会)では、「教育メディアを利用した教材や資料の提示、教師の支援により、児童の学習意欲を高め、確かな理解を図るにはどのようにすればよいか」をテーマに研究を進めてきた。

6月の事前授業では、4年生の「暮らしを守る」の単元において、学校の周りにある消火栓の位置を地図にかき込んで視覚化し、それらの分布からわかったことや気づいたことを発表し合う学習を実践した。教材ソフトとして「d b o o k」を使い、児童が調べていた消火栓の位置や地元の消防署から提供していただいた消火栓の分布を示し、街中には、通り沿いや住宅地にまんべんなく消火栓があることを理解することができた。一方で、調べてきた消火栓の位置を正確に示していくために、地図の読み方についての基礎的な指導や利用する地図の範囲等について課題が残った。

そこで、児童が学習意欲を高め、確かな理解を図るためには、以下のことについて研究と実践を進めてきた。

①学習内容の基礎的・基本的な理解を図る。

9月末から学習を始めた4年生「県内の特色ある地域の様子」の単元で、松本方面の社会見学(松本城・大王わさび農園)や長野県の自然や産業と取り上げた動画視聴等を通して、長野県について概観し特色を明確にする学習を行う。

②自分で調べたいテーマを決め学習を進める。

①の学習を通して学んだことを基に、各自が調べたいテーマを決め、同じテーマの友だちとグループで調べ学習を進めることにより、より意欲的な追究ができるようする。

③教育メディアを効果的に利活用する。

ホームページによる調べ学習やグループのまとめと発表のために必要な画像選び、画像の取り込みと利用を進める。また、発表の場面では、書画カメラを利用し、グループで調べたことが他の児童にもわかりやすくしたり、発表内容についてパソコン上で写真やインターネット画面を提示したりして、互いに発表や内容のよさや助言がしやすくなるようにする。

こうした活動や指導・支援を通して、長野県内の特色ある地域の位置や自然環境、社会的な背景、産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考えて、表現する力を育んでいきたいと考えている。そして、児童が社会的事象への興味や関心を高め、確かな理解を積み重ねることを通して、社会的な見方・考え方を身に付け、友と共に対象の本質に迫ることができるような学習を進めていきたい。

3 学習指導案

(1) 単元名 「県内の特色ある地域と人々の暮らし」

(2) 単元設定の理由

4 学年では運動会の際に、今年で県歌制定 50 周年となる「信濃の国」をアレンジした曲で表現運動を発表した。その際、各クラスで「信濃の国」の歌詞の意味を学び、長野県は、山・川・湖などの自然が豊かで、古くから多くの偉人を輩出し、全国的に見ても特徴的な産業が生まれ発展してきたことを学習した。

また、10 月には松本・安曇野方面の社会見学を行い、観光名所として外国人にも人気の松本城と大王わさび農場を見学している。帰りには、姨捨 SA から望む善光寺平（長野盆地）や県内の高速自動車網等についても学習し、見学後には「信濃の国」の歌詞の内容や意味を再確認したことで、自分たちが住んでいる長野県に対して興味や関心をもつ子が増えてきた。

さらに、本単元においては、「NHK for School」の動画「見えるぞ ニッポン～長野県～<http://www.nhk.or.jp/syakai/mieruzo/>」を視聴する。これは、児童が「信濃の国」についての学習や、松本・安曇野社会見学などで長野県全体への興味や関心を高めてきたため、この動画を視聴することによって、進んで長野県の特色を調べたいと考えたからである。

そして、動画を見た後に自分が調べてみたい長野県の特色を分類し、これまでの学習内容などを踏まえて、「観光」「農業」「工業」「伝統的な産業」の 4 つに分けていきたい。この 4 つのテーマ別にそれぞれ 2 班ずつが、それぞれのテーマの特色や地域の多様性を調べてまとめて発表していく。

その際、視聴覚機器を用いて発表したり、パソコンを利用して発表内容を確認したりすることで、様々な角度から長野県の特色を理解できるようになると考え、本単元を設定した。

(3) 単元の目標

① 主目標

自分たちが住む長野県について関心をもち、長野県の地形や主な産業、観光の様子や特色を調べ、それぞれの地域に暮らす人々の生活の様子を比較して考えることを通して、長野県の特色についてまとめ、発表することができる。

② 具体目標（評価規準）

A【社会的事象への関心・意欲・態度】

ア 長野県内の地形や産業などの概要と、そこに見られるような人々の生活の様子に関心を持ち、長野県の様子や県内の特色ある地域の生活について進んで調べようとしている。

B【社会的な思考・判断・表現】

ア 長野県の地形や産業の特色、気候や土地の特性を生かした産物を地域の資源として活用し、

地域の活性化に努めている人々の生活の特色やよさについて考えている。

イ 長野県の地形や産業、観光などの特色について、考えたことを自分の言葉でまとめている。

C【観察・資料活用の技能】

ア 地図帳や長野県の積層地図などの資料から、長野県内の各地域の地形の特色を読み取っている。

イ 資料やインターネットのホームページから、長野県は自然の特色や気候を生かして技術を発展させてきたことを読み取っている。

ウ 長野県内の特色ある地域の人々の生活や産業について、調査してわかったことをポスター形式にしてまとめている。

D【社会的事象についての知識・理解】

ア 日本における長野県の地理的位置や47都道府県の名称と地理的位置などを理解している。

イ 長野県全体の地形、主な産業や観光の概要、交通の様子や主な都市の位置など、長野県の特色を理解している。

ウ 長野県内の特色ある地域の人々の生活や産業と、国内の他地域や外国との関わりを理解している。

(4) 展開の概要

時間	学習活動・評価 (☆)
①②	長野県を概観する。 ・「信濃の国」ダンスのDVDを視聴する。 ・資料集にある各地方の特色をまとめる。 ☆A-ア
③④ ⑤	社会見学(10月2日)に向けた学習 ・中信地方の自然の様子や主な産業について調べる。 ・松本城や大王わさび農園について調べる。(資料集・ホームページ等) ・長野県の積層地図や立体地図による松本空港や松本市内の土地利用について調べる。 ☆A-ア・C-ア・D-ア
⑥⑦ ⑧⑨	社会見学(松本城・大王わさび農園等) ・見学場所別にわかったことなどをまとめる。 ☆A-ア・B-ア
⑩⑪	長野県の特色についてまとめる。 長野県の特色について、調べたいことを決め、グループを作り計画を立てる。 ☆B-イ・C-イウ
⑫⑬	テーマ別に調べたことをまとめる。 ・発表の準備と同じテーマ別グループで助言し合う・ ・わかりやすく伝えるための工夫や資料提示の仕方について考え合う。 ☆B-イ・C-ウ
⑭⑮ ⑯	テーマ別に発表し、長野県の特色について考え合う。 【⑮公開授業】 ・テーマ別にまとめたことを基に、長野県の特色を「信濃の国」の歌詞に当てはめて作詞する。 ☆B-アイ・C-ウ・D-イ
⑰	長野県と世界とのつながりについて考える ・川上村の台湾へのレタスの輸出について調べたり考えたりする。 ☆D-ウ
⑱	単元を通じた評価テストとまとめをする。 ☆C-ア D-イウ

(5) 本時案

①本時の主眼

班ごとに決めたテーマで長野県の特徴についてまとめてきた子どもたちが、他の班の発表(ポスターセッション)を聞き、長野県の特徴について自分たちがまとめたことと比較して考えたり、発表からわかったことや考えたことを伝え合ったりすることを通して、長野県内の地域や産業には、それぞれの特色やよさがあることがわかる。

②本時の位置(18時間中の第15時)

前時…前半に発表を行う班(4つ)が長野県の特徴(観光・農業・工業・伝統産業)について発表を行った。

次時…テーマ別にまとめたことを基に、長野県の特徴を「信濃の国」の歌詞に当てはめて作詞する

③使用する視聴覚機器と利用法

- ア プロジェクター
- イ ノートパソコン
- ウ 書画カメラ

④指導上の留意点

ア 視聴覚機器を活用した発表や資料提示をスムーズに行えるように、事前に機器の扱い方や提示のタイミング等を発表グループの児童と確認しておく。

⑤展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	支援・☆評価	時間
導 入	「班で調べた長野県の特徴(観光・農業・工業・伝統的な産業)について発表しよう」(後半の発表班)			4
展 開	1 発表や意見発表の仕方について確認する。 2 自分たちが調べてまとめた長野県の特徴(観光・農業・工業・伝統的な産業)について班毎に発表し、それぞれの特色について考え合う。	・前回、他の班が行ったみたい に発表すればいいんだな。 ・他の班の発表が楽しみ。 ・自分たちが調べた内容とは違 う特色だから、質問してもっ と詳しく知りたいな。 【観光】 ・観光も、長野県を自然を生か しているんだね。 ・温泉や歴史に関する観光地 が多い。 【農業】 ・その土地に合った作物を栽培 している。それを「適地適作」 と言う。 ・新鮮な野菜や果物が多くさい	○前時を想起し、班の発表 や発表後の意見の 出し方について確認す る。 ○学習カードを配布す る。 ○黒板に児童が班ごとに 作成した発表用資料を 掲示する。必要に応じて 投影する。 ○発表後は、質疑応答や 意見交換を進め、各テ	28

終 末		<p>ばいされている。</p> <p>【工業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県の工業は戦争のころの疎開と関係がある。 ・工業がこんなに盛んだとは思わなかった。 <p>【伝統的な産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曾漆器や打刃物など、生活で使う物が作られている。 ・木を使ってできるものがほとんどだ。 	<p>ーマの特色や各地域の多様性などをまとめていく。</p> <p>○各班の発表内容を補う資料や視聴覚教材等を用意しておき、必要に応じて提示する。</p>	
	<p>3 各班の発表を聞いて、長野県の特色についてわかったことなどを学習カードにまとめる。</p> <p>4 学習カードにまとめたことを発表し、次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県は広いし、自然も豊かだから、地域によってそれぞれ違う特色があるんだ。 ・長野県の特色は、やっぱり自然が豊かなことで、それを生かして農業や観光がさかんだと思う。 ・おなじ長野県なのに、テーマや地域によって少しずつ特色がちがうことがわかった。 ・自然を大切にしないと、長野県の特色が失われてしまうと思った。自然を大切にしたい。 	<p>○発表を聞いて、長野県の特色についてわかったことや考えたことをメモするように指示する。</p> <p>○数名の児童に発表させていく。</p> <p>☆地域の特色を産業ごとに比較して考え、産業ごとに特色やよさがあることがわかったか。 (学習カード・意見発表)</p>	<p>8</p> <p>5</p>

⑥授業の観点

- ア 視聴覚機器を活用して、グループの発表内容を書画カメラで写したり、発表を補完する資料やデータをパソコンで示したりしたことは、児童が学習意欲を高め、進んで学ぼうとするための手立てとして有効であったか。
- イ 長野県の特色を4つのテーマに絞り、班ごとにポスター形式にまとめて発表したことは、県内各地の特色や多様性を理解する手立てとして有効であったか。